

教室おすすめの取組

放課後はつかいち寺子屋塾 【 廿日市市 】

取組の名前

放課後はつかいち寺子屋塾

取組の種類

その他

取組の内容

異年齢集団の中でのコミュニケーションや地域住民との交流を経て、子どもたちが地域社会の中で心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進している。また、チャレンジメニューに継続して取り組むことで根気強さを身につけ、「できた」という達成感を得ることができている。

【活動内容】

チャレンジメニュー

お箸の正しい持ち方とマナーの練習、風呂敷・くつひも・ロープの結び方、小刀で鉛筆を削る、ストレッチ（背筋力をつける）、百人一首や論語の暗唱、昔遊び（おはじき、けん玉など）、運針

ランドセルを背負ったまま、放課後に図書室に来る。

見守り隊と目と目、指と指を合わせて大きな声であいさつする。

チャレンジカードを受け取り、チャレンジ開始。

チャレンジメニュー終了後、宿題を30分間で済ませる。（時間内に終わらない場合、続きは自宅で）宿題が終わったらフリータイム。（ほとんどの子どもたちが読書をする）

終了30分前に道具を片付け、「遊ばせ隊」（放課後はつかいち寺子屋塾を卒業した児童を中心とする上級生）が考えた遊び、ゲームを行う。

終了5分前にランドセルを持って整列する。じゃんけんで決めたあいさつ係が見守り隊にお礼を述べ、遊ばせ隊の1人1人とタッチして別れる。退室を見届け、遊ばせ隊が見守り隊にお礼を言って終了。長期休業期間中（夏休み等）にも、耐力（がんばる力）づくりハイキングや工作教室等を実施している。

気をつけていること

スタッフ間の情報交換を月1回行い、子どもへの対応の検討や方針を統一、活動プログラムの見直しなどを行っている。

学校、保護者との連携を重視し、学校支援地域本部とも協力して実施している。

取り組む子どもたちの様子

核家族が多い中、地域の方々や上級生との交流は子どもたちの心をととも豊かにしている。特に上級生が「遊ばせ隊」として指導にあたることで、子どもたちは遊びを通して「がまん」や「仲間づくり」を自然に身につけることができている。